

2020年4月26日（日）メッセージアウトライン

「目に見えなくても確かに存在するもの」

聖書箇所：Iヨハネ4：7～12

タイトル：「目に見えなくても確かに存在するもの」

テーマ：本日の聖書箇所は、目に見えないけれども確かに存在するもの、いえ、目に見えないものを目に見えるかたちで示していくことのできる神の存在と、神の愛と神の愛を受けた者が互いに愛し合っていくことによる、愛なる神の存在証明とでもいうべき箇所です。

私たちは、肉眼で神を見ることはできません。「愛」という抽象的概念も目で見ることにはできません。それでも神も神の愛も確かに存在すること、神の愛を受けた者たちが果たすべき役割とはなんであるかを見てまいりましょう。

1. はじめに

実は目に見えていることは、人生のごく一部分であって、本当に大切なものは肉眼では見えない、けれどもそれが確実に存在していて、私たちの人生を決定づけるものになっているのだと考えたことがありますか？

肉眼で見えないものの種類

*物理的な理由・・・微細であるがゆえに、あるいはあまりにも遠く離れているがゆえに見ることが出来ない（何らかの方法で見ることが出来る）

*いかなる道具をもってしても見えないのもの（何によって見るのか）

2. 聖書全体を貫く「神の愛」

①「愛する」という言葉を用いるとき、必ず愛する対象者がいる。「愛される」という時必ず愛してくれる誰かがいる。

②初めの人間アダムは、神に愛され、神を愛していたということ。愛する対象があり、愛して下さるお方がいたということ。

三位一体の神の間にある相互の愛——完全な「愛し合う関係、信頼し合う関係」の原型

3. 「愛し合う」ために

①「私たちは互いに愛し合ひましょう。愛は神から出ているのです。愛のある者はみな神から生まれ、神を知っています。」（7節）

②「愛のない者は神を知りません。神は愛だからです。」（8節）

③「神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちにいのちを得させてくださいました。それによって神の愛が私たちに示されたのです。」（9節）

④「私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、宥めのさ

さげ物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。」(10節)

⑤「愛する者たち。神がこれほどまでに私たちを愛してくださったのなら、私たちもまた、互いに愛し合うべきです。」(11節)

⑥「いまだかつて神を見た者はいません。私たちが互いに愛し合うなら、神は私たちのうちにとどまり、神の愛が私たちのうちに全うされるのです。」(12節)

4. 結論

①私たちの生きている時代

②直面している危機

③「目に見えなくても確かに存在するもの」が確実に存在していることを示すために、今、私たちクリスチャンがなすべきこと